

# 会議（打ち合わせ）議事録

ひょうご障害者地域生活支援センター

名称	第4回 防災を考える部会
日時	2017年11月28日（火） 16:00 ～ 17:30
場所	中部在宅障害者福祉センター 2階 研修室
【出席者】	肢体障害者福祉協会（1）、聴力言語障害者福祉協会（1）、視力障害者福祉協会（1）、手話通訳グループ「葦の会」（2）、いかり共同作業所（2）、兵庫区社会福祉協議会（1）、神戸ろうあハウスデイサービスセンター（2）、兵庫区役所健康福祉課（1）、ひょうご障害者地域生活支援センター（3）、手話通訳者2名 計 14名（手話通訳者2名は除く）
1、第2回ふれあいワークショップの振り返り	<p>【肢体障害のグループ】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 当日、台風の接近で参加人数が少なかった。自治会や婦人会の長が多かったため、障害に対する理解はあった。</li><li>・ 肢体障害と言っても様々な症状があることを伝えることができた。</li><li>・ この地区の住民は熱心であると感じた。</li><li>・ 参加者皆が障害に対する理解が進んでいると感じた。内容や記録、発表者もスムーズに決まった。</li></ul> <p>【視力障害のグループ】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 地域の方の意見として、「知らないことを知ることは良いこと」、「視力障害のある方への声のかけ方、きっかけづくりが難しい」、「視力障害の方を見かけることが少ない」、「盲導犬を連れている人も少ない」などがあった。</li><li>・ 視覚障害を知らない人に障がいのことを知ってもらえたことが良かった。</li><li>・ ヘルプカードの周知ができた。</li><li>・ 普段、所属している会の関係で、ろう者のグループに入るが、今回は視力障害のグループに入り、新鮮であった。改めて視力障害のことを地域の方と聞くことで自分の理解としても深まった。ワークショップ翌日、視力障害のある方が、困っておられ、ワークショップで得たことを活かし、声をかけることができた。</li></ul> <p>【聴覚障害のグループ】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ ヘルプカードの作成について、序盤からつまずいた。障害のことを知らない方、「震災が起こったらそんなことでできへんわ」という意見もあった。普段からのコミュニケーションが大切であるということが新たな発見となった。</li><li>・ ヘルプカードの作成に拘らなくてもいいのではないかと。地域の方からの具体的な質問があり、震災の話に及んだ。震災の時に、どのような動きをしたかということ共有してもいいのかなと思った。</li><li>・ 筆談について、議論がかみ合わないことがあった（空書きと筆談があべこべに認識している人がいた）。</li><li>・ 災害時、コミュニケーションをうまく取れない場合どうしたらいいか。具体的にどうしたらいいかは人によって異なる。手に書いた方がいい、口をゆっくり読むなど。</li><li>・ 障がいのある方への配慮について、理解をしてもらうのが難しい方もいた。</li><li>・ 阪神淡路大震災の体験談が自然と共有された。</li></ul> <p>【全体・運営面等】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 全体的には良かった。</li><li>・ 全体的に議論は白熱していた。</li><li>・ ヘルプカードを埋めることが目的ではなく、ヘルプカードをきっかけに障害のある方とどうコミュニケーションをとればいいのかを考えてもらうきっかけになればいいと思う、</li><li>・ 台風の接近に伴い、開催についての判断について反省すべき点があった。今回については事故等がなくよかったが、当初の予報とは異なり、開催中に一番台風が接近する形となった。今後、ワ</li></ul>

ークショップのみでなく荒天時のイベント開催の判断について、一定の取り決めを行う必要があると思われる。

- ・ 班の分け方について、各所属の長ばかりが固まっていたので、グループを分ける際に検討が必要。
- ・ 事前申込者の名札がなかった、地区ごとに並べるなどの工夫が必要。
- ・ 台風の接近のため、事前にチラシの配布ができなかった。地域の当事者の参加がなかった。
- ・ 地域の自治会役員向けとしてはよかったが、台風で地域の当事者の参加が0であった。延期にするなどの方法が取れなかったのか。
- ・ グループワークのハードルをもう少し低くしてもいいのかと思った。
- ・ 荒天時の開催についての取り決めが必要だと思った。

## 2、ヘルプカードを地域に設置にすることについて

### 【意見】

- ・ ヘルプカードが必要な利用者数のアンケートをとるのはどうか。
- ・ 他区の方でも兵庫区の事業所を利用してれば、ヘルプカードを持ってもらう。
- ・ 他の部会開催時に説明を行う時間をもらう。
- ・ 近隣の喫茶店に障害者のお客さんがいるか聞いたが、年に何組かくるのみ。あまり来ないという意見であった。→障がいのある方が立ち寄りところにおかないと意味がない。
- ・ ふれあい福祉フェア（11/18）で車いすを使用している方5名程度にヘルプカードを渡した。
- ・ コープは障がいのある方も利用しているのではないか。コープは置いてもらえないか。→他区では於いている実績がある。
- ・ JR兵庫駅はどうか。JRは関係機関以外は置いてもらえないと思われる。
- ・ イオン神戸南、友生支援学校はどうか。→依頼を行ってみる。
- ・ 市営地下鉄、兵庫県柔道整復師会、各種イベント時など。

### 【設置場所、時期などについて】

場所	担当	時期	その他
イオン神戸南	「肢体障害者福祉協会」より1名 「ひょうご障害者地域生活支援センター」より1名	年内に行ければ	
コープ兵庫店	「神戸ろうあハウスデイサービスセンター」より1名 「聴力言語障害者福祉協会」より1名（仮） 「ひょうご障害者地域生活支援センター」より1名	年内に行ければ	金曜日以外がよい
区内地域福祉センター（15か所）	「兵庫区役所健康福祉課」より1名 「兵庫区社会福祉協議会」より1名 「手話通訳グループ「葦の会」」より2名	1月中に行ければ	センターに常に管理人がいるところとないところがある。管理人がいるところに数か所まわれば良いか。
友生支援学校	「視力障害者福祉協会」より1名 「ひょうご障害者地域生活支援センター」より1名	12月～1月にかけて	金曜日以外がよい。

兵庫区自立支援協議会構成機関への配布は今後検討が必要。

業務連絡  
 次回部会開催日程  
 日時：平成29年1月31日（水）16:00～  
 場所：中部在宅障害者福祉センター